

## 【パネルディスカッションテーマ】

テーマ1：本市のまちづくりにおける課題と官民連携の取組

テーマ2：官民連携を進めるにあたっての課題

## 【主な発言内容】

○（うきは市長）高木 典雄 氏

うきは市では、公共施設を「新しく造る」から「賢く使う」ことを念頭に、身の丈にあった運営を目指している。そうした中、指定管理者制度は複数の施設で導入しているが、運営は地域のコミュニティ組織が担っており純粹の民間企業が担ってはいない。今後、官民連携を進めるにあたり、市内で担い手を育てていくことが課題である。

○（鹿屋市副市長）原口 学 氏

鹿屋市では、正に現在、桜ヶ丘子育て支援住宅整備、鹿屋女子高等学校施設整備をPFIで実施中である。これからの地域経営は、民間の人材・技術力を最大限に活かすとともに、市民一人一人の参加意識を高めていくことが必要と考えている。そうした中、市内事業者の活用とそれによる地域経済の好循環をどう実現していくかが課題である。

○（武雄市長）小松 政 氏

武雄市では、図書館に指定管理者制度を導入し、開館時間を365日、朝9時から夜9時までとするなど市民価値の向上に取り組んでおり、更に「子育て応援機能」などを併せ持った「こども図書館」も開館予定である。今後も、民間のノウハウを活用し「市民価値の向上」を目指し、利用者目線でのサービス充実を、スピード感をもって実現していきたい。

○（日南市長）崎田 恭平 氏

日南市では、若者にとって魅力ある働く場の創出に力を入れており、民間企業と組んで新たな仕事を創出するためのマーケティング戦略を展開している。今後も、地域の悩み事を、民間のノウハウ、アイデア、スキルと、地域の資源（ヒト、モノ）を組み合わせで解決し、それがビジネスにまで発展することを期待している。それには、行政側も民間企業と対話できるコミュニケーション能力及びスピード感が必要である。



【官民連携（PPP/PFI）事業の推進に向けた首長意見交換会】



【（うきは市長）高木 典雄 氏】



【（鹿屋市副市長）原口 学 氏】



【（武雄市長）小松 政 氏】



【（日南市長）崎田 恭平 氏】



【（九州大学 学術研究・産学官連携本部 教授）  
谷口 博文 氏】



【（大分大学 副学長 経済学部 教授）  
下田 憲雄 氏】



【（鹿児島大学 理工学研究科 教授）  
木方 十根 氏】